

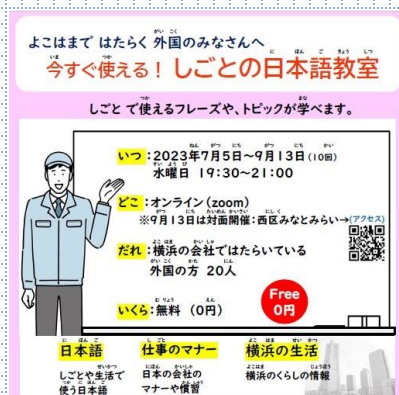
外国人従業員向け日本語教室 「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第1期

主催：(公財)横浜市国際交流協会

企業等に就業する外国人の増加に伴い、仕事に役立つ日本語学習を希望する外国人が増加していることから、当協会では横浜市の企業で働く外国人従業員を対象に、職場や生活に必要な日本語や、日本人とのコミュニケーションのコツを学ぶ日本語教室を開催しています。今期の教室は終業時間後の水曜午後7時30分から、オンラインで全10回の教室を開催しました。また最終回はみなとみらいにあるYOKE会議室での対面授業としました。今期はベトナム、中国、インドなど5か国地域から、全7企業14名の学習者が参加しました。

企業や地域は違っても、同じ教室で一緒に学べる楽しさを感じられたようです。仕事終わりで疲れていても参加する人も多く、高い出席率のまま最終回を迎えました。授業は日本語レベルによって2グループに分かれ、仕事に関連のあるフレーズやマナー、文化などを学びました。「部下と上司のやりとり」を学習者同士が演じるロールプレイなど、より実践的な活動も行いました。また、横浜の地元情報を取り上げましたが、学習者のみなさんは驚いたり関心をもって聞いていました。

最終回の対面授業では実際に顔を合わせ、各グループに分かれてロールプレイを行いました。授業が終わっても学習者同士日本語で交流をしている姿が見えました。仕事の日本語を学ぶだけでなく、異業種で働く人たちと触れ合う貴重な機会になりました。



よこはまはたらく外国のみなさんへ
今すぐ使える！しごとの日本語教室

しごとで使えるフレーズや、トピックが学べます。

いつ：2023年7月5日～9月13日(10回)
水曜日 19:30～21:00

どこ：オンライン(zoom)
※9月13日は対面授業：西区みなとみらい1(アークヒルズ)

だれ：横浜の会社ではたらくしている
外国の方 20人

いくら：無料(0円) Free 0円

日本語 仕事のマナー 横浜の生活
しごとや生活で使う日本語 日本企業のマナーや慣習 横浜のくらしの情報

参加者の声

- たくさん会話を勉強しました。先生はやさしいし、面白いし、次の教室参加したいです。ありがとうございました。(原文ママ)
- すごく勉強になりました。本当に感謝いたしました。(原文ママ)
- このグループはとても素晴らしいので、仕事での自己紹介を学ぶことができ、非常に役に立ちました。この教室はおすすです。(和訳)

講座名

「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第1期

講師

一般財団法人 日本国際協力センター

日時

毎週水曜日19:30～21:00
2023年7月5日～9月13日 (全10回)
7月5日、12日、19日、26日、
8月2日、9日、23日、30日、9月6日、9月13日

場所

オンライン (Zoom)
対面授業
(横浜市国際交流協会会議室 9月13日)

対象

横浜市内の企業に勤める外国人従業員

参加者

14人 (のべ参加者数118人)
ベトナム4人、中国3人、インド2人、
インドネシア2人、ミャンマー2人、台湾1人
建設業、人材派遣・紹介業等7社



よこはま日本語学習支援センター
Yokohama Nihongo Support Center
<https://yokohama-nihongo.com>
運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



外国人従業員向け日本語教室 「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第1期

オンライン授業 第1回～第9回

AグループとBグループに分かれて授業を行い、仕事で使う日本語のフレーズや、上司に許可を取る表現方法、日本の会社のマナーなどを、ロールプレイをしながら学びました。自己紹介や上司への報連相、メールの送り方など基本的なマナーに関わるテーマから仕事の合間の雑談など実践的なコミュニケーションについても学びました。またランドマークタワーの展望スポットなど知らなかった場所や施設、イベントといった横浜の地元情報を知ることができました。学習者同士で助け合ったり、知らないことを質問したり、他の学習者に説明することによって日本語でのコミュニケーション能力が向上していきました。授業の最後には全員一緒に復習や次回の授業内容を確認しながら、仲良く学習を通して交流を深めました。



参加者の声

先生たちはやさしいから、日本語べんきょうするのは楽しくなります。本当にありがとうございます。（原文ママ）

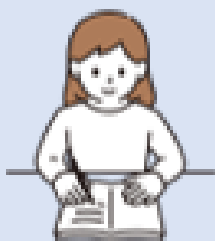
対面授業 第10回

最終回は対面での授業を行いました。一部オンライン参加者もいました。最初に横浜に関するクイズを行い、その後AグループとBグループに分かれて授業を行いました。普段オンライン授業で参加している学習者同士が実際に会って交流を深めるだけでなく、企業の担当者の方にもご参加いただき、学習者の授業の様子を見て感じてもらいました。対面会場では最初のクイズで盛り上がり、授業でも活発に発言している様子が見られました。オンライン参加の方も会場とうまくコミュニケーションを取りながら、モチベーション高く授業に参加されているようでした。

最後には全体で修了式を行い、楽しく達成できた気持ちで終わることができました。授業が終了しても会場にいた学習者の皆さんは積極的に交流して大変盛り上がりました。



企業の担当者も交えて教室を実施しました。



企業の方から

反復継続して実践する事の重要性を感じました。当社社員の生徒は若干恥ずかしそうでしたが、臆せず今後も日本語を話して欲しい。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



外国人従業員向け日本語教室 「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第2期

主催：(公財)横浜市国際交流協会

■背景

市域で企業等に就業する外国人の増加に伴い、仕事に役立つ日本語の学習を希望する外国人も増加しています。また、2019年度に実施した「横浜市域における地域日本語教育の総合的推進に係る実態調査」では、外国人雇用企業から「日本語力アップのためのサポートが必要だが、事業所内だけでは難しい。」などの声がありました。そこで、外国人従業員を対象として職場や地域生活において必要な日本語や、日本人とのコミュニケーションのコツを学ぶ日本語教室を開催しました。7月～9月に第1期教室を開催し、今回は2期目の開催でしたが、しごとでよく使われる表現に加え、職場でのコミュニケーションにつながるよう、雑談でよく話されるような近況報告、休日の過ごし方などのテーマも取り上げました。

■講座の目的

- 1) 外国人従業員に対し、仕事や生活に必要な日本語、職場での円滑なコミュニケーションのコツを学ぶ機会を提供する。
- 2) 外国人従業員が地域の中で生活するための、マナーや暮らしの慣習を知る機会とする。
- 3) 教室の実施を通じて、企業や日本人従業員等と外国人との交流・相互理解を深める。
- 4) 企業と連携した日本語学習支援の可能性を検討する。

■講座の内容

- ・仕事や生活で使う日本語
- ・日本の会社のマナーや慣習
- ・横浜の暮らしの情報

参加者より

- ・日本語だけじゃなくて仕事や生活についても勉強になった。
- ・仕事でうまく状況や意見を説明できた。
- ・仕事と目上の人と話す時に役立った。

企業の担当者より

- ・日本語教育を受ける機会及び参加者同士のコミュニティができたことがよかった。
- ・取引先の人と接する機会もあり、その際に「日本語が上手ですね」と言われることもあり、本人の自信につながっている。

講座名

「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第2期

講師

一般財団法人日本国際協力センター

日時

毎週水曜日19：30～21：00
2023年11月22日～2024年2月7日（全10回）
11月22日、29日、12月6日、13日、20日
2024年1月10日、17日、24日、31日、2月7日

場所

- ・オンライン（Zoom）
- ・対面授業（横浜市国際交流協会 2月7日）

対象

横浜市内の企業に勤める外国人従業員

参加者数

16人（のべ参加者数102人）
ベトナム9人、中国3人、ミャンマー2人、
インド1人、フィリピン1人
製造業、IT、プラントエンジニアリング等6社



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

外国人従業員向け日本語教室 「今すぐ使える！しごとの日本語教室」第2期

オンライン 授業 第1回～第9回

日本語のレベルにより、Aグループ、Bグループの2グループに分かれて教室を行いました。指示の確認・報告や休みの連絡など、仕事の際に大切な日本語表現に加え、「仕事はどうですか」「横浜近郊でレジャーにおすすめの場所」など職場の同僚とのコミュニケーションのきっかけになるような話題についても取り上げ、会話練習を行いました。

指示の確認として「～ですね」という話し方を学んだ際には、それ以降講師の呼びかけに対して、「○ページの練習ですね」と参加者が早速話し始め、使い方もしっかりと定着していました。週1回、就業後の90分という限られた時間ではありましたが、何か疑問に思った際には都度講師に質問したり、復習用の動画教材を活用して自分で学習するなど、皆が積極的に学習に取り組んでいました。

回	内容
1	オリエンテーション 日程調整をする
2	案内メールの発信/返信
3	遅刻連絡をする
4	仕事でミスをした時の対応 ～重要な書類を紛失したとき～
5	休みの許可をとる
6	社内コミュニケーション① ～業務について～
7	業務の報告/相談をする ～期限までに間に合わないとき～
8	社内コミュニケーション② ～休日の過ごし方など～
9	意見交換 ～問題点の改善を考える～
10	発表

参加者の声

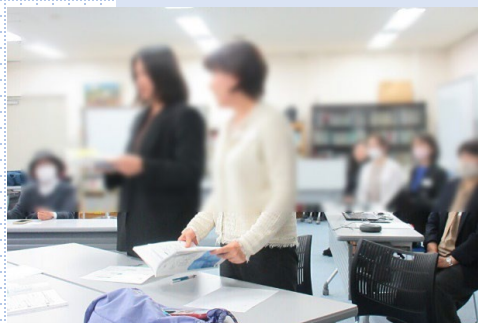
- ・教科書は生活と仕事に役立つのでよかった。
- ・もっと自信を持って話せ、日本のコミュニケーションについてもっと理解できるようになった。

Aグループカリキュラム

対面授業 第10回

最終回には対面授業を実施し、企業担当者の方々にも教室の様子を見てもらいました。Aグループでは、日本の生活での困りごとを出し、その解決策まで話し合い、意見をまとめて発表をしました。最初は話が進みづらい様子もありましたが、最後には企業の方の前で堂々と自身の意見を伝えていました。Bグループでは、上司の指示を聞いた後に内容の確認、報告まで行うロールプレイや発表スピーチを実施しました。これまで教室で何度も練習した丁寧な表現を使い、流暢に話すことができていました。

これまでオンラインで共に勉強してきた参加者同士が直接会うことができ、教室後も会話を楽しむ姿が見られました。



企業担当者の声

- ・雰囲気はとてもよいです。親切、丁寧に教えてもらった。
- ・普段は仕事以外勉強の機会がないので、日本語が勉強できて、他の方と交流できるよい機会だと思う。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

